



相模中学校だより 9月号 No 2

令和4年9月28日 発行：校長 金子憲勝

(カラー版は相模中学校のホームページに掲載しています)

早くも9月下旬になり、2学期が始まった頃と比べるとめっきり秋らしい季節になっています。9月に入ると感染症の心配だけでなく、台風の心配をしながらの日々が続いていますが、座間市教育委員会や保護者の皆様のご協力により、予定どおり15日(木)にはハーモニーホール座間の大ホールを使用して「**第36回相模祭**」を開催することができました。昨年度は、8月から9月にかけて全国的に感染症が拡大したために、相模祭を延期して本校の体育館で11月30日に学年ごとに開催しました。そのため、今年度はハーモニーホール座間を使用して実施できたことが、とても嬉しかったです。また、昼食場所としてPTA会長様のご厚意で市役所脇にあるレストランも使用させていただき、大変助かりました。誠にありがとうございました。皆様のご支援やご協力に対して、心より感謝申し上げます。

今年度の相模祭のスローガン『**百歌繚乱**』の意味については、前回の相模中学校だよりに載せましたが、見事そのスローガンどおり各クラスが素晴らしい歌声を披露し、聴いている私はホールいっぱいに美しい歌声の花が咲いているように感じました。(そのように感じたのは、私だけではないと思います。)そして、2・1・3年生のクラス合唱の後は、合唱部・相模級・演劇部の出し物で、どの発表も日頃の練習の成果を十分に発揮し、見ている私たちに感動を与えてくれました。今回は、以下に相模祭合唱委員の1・2学年代表者と3学年副委員長と書記の言葉を載せますので、お読みください。

また、相模祭の様子をはじめ、日頃の学校の出来事については、「相模中学校のホームページ」に掲載していますので、ご都合のよい時にご覧ください。

相模祭合唱委員・学年代表者 1年5組 入江 百合 さん

今年度の相模中生で創る相模祭が終わりました。ご指導いただいた先生方や先輩方、ありがとうございました。無事終わることができたのは、合唱委員やパートリーダーなどの頑張りがどのクラスの合唱からも伝わってきたことと、相模祭当日に一人一人がやるべきことをこなしてスムーズに行えたからだと思いました。このように、たくさんの方が一つの目標に向かって努力した結果として、相模祭の目標を達成することができました。この経験を生かして体育祭などの他の行事でも全員が活躍できるものを作っていけるといいと思います。

相模祭合唱委員・学年代表者 2年2組 木津 瑠月 さん

みなさんは、練習の成果を相模祭で発揮することはできましたか。私のクラスは、最初はなかなか声量が出ず不安でいっぱいでした。ですが、帰り学活の時間を使って各パートで話し合いをし、クラスみんなが合唱委員やパートリーダーの言葉を否定せずしっかり受け止めたことで、本番で最高の合唱を観客に届けることができました。他のクラスも、2学年練習の時と比べて本番はとても良い合唱でした。たくさん練習してきたからこそ、みなさんは本番を全力で楽しみ、先生方や他のクラスや学年の人たちに感動を与えられたのだと思います。体育祭も、本番を一番楽しめた人が優勝だと思います。2学年全員で、これからもどんな壁も乗り越えて頑張っていきたいです。



相模祭合唱委員・副委員長 3年1組 古村 悠海 さん

私は、合唱委員の仕事をしているうえで仲間の大切さに気がつきました。合唱委員が何か行動を起こそうとした時、クラスみんなが手伝ってくれました。合唱委員のミスに臨機応変に対応して、私たちのミスをカバーしてくれたのも、クラスみんなです。また、兄弟学級のみんな、学年のみんなにもたくさんの刺激をもらいました。この相模祭を成功させることができたのは仲間がいてこそだと思います。私のクラス(3年1組)は、賞に届きませんでした。とても悔しかったです。その悔しさをバネに、体育祭でも「仲間」と共に全力で活動していきたいです。体育祭でも、共に頑張りましょう!!

相模祭合唱委員・書記 3年5組 小林 珠香 さん

みなさん、相模祭お疲れ様でした。各クラスの合唱や合唱部・相模級・演劇部の発表も、『百歌繚乱』そのものでした。書記としてガッツリ活動するという事はなかったのですが、色々なクラスから聞こえてくる意見や兄弟学級の方々の活動の仕方など、とても興味深いものばかりでした。クラス合唱を作り上げる以前の問題で、計画表を作成したり、自分のクラスに合う練習を考えたりと、どのクラスも大変なことがあったと思います。そのような皆さんの頑張りが、あの合唱に表れていたと思います。盛り沢山の仕事をこなす合唱委員の姿、すごく格好良かったです!

